

# しろくま通信



今回ご紹介するのは福岡県福岡市箱崎にある『管崎宮』です。

国道三号線の箱崎付近を走っていると、大鳥居が見えます。管崎宮の玄関とも言える大鳥居ですが、これが撤去され、再建の話もないというので、今月は管崎宮に焦点を当てます。

本宮からまっすぐに海岸まで延びる、1 km 近くある広い参道に4つの鳥居が並んでいますが、管崎宮から3番目に立つのがこの大鳥居です。鉄筋コンクリート製で高さは16 m、特別に高いとは言えませんが、両柱の太さは国内有数のものです。

この鳥居は1930年に田川市の初代市長を務めた林田春次郎氏によって建てられたもので90年近く経っています。おそらく石炭景気に沸いたもので、当時の箱崎はまだ福岡市ではなく、糟屋郡で一番発展した町でした。この頃は現在の国道三号線あたりが海岸線で、その名残か灯台の役目を果たす石造りの高燈籠が、大鳥居の脇に鎮座しています。



今までのしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！